

# こども×アート



幼児期は感性や想像力が育つ大切な時期です。絵画や造形活動はその成長を支える重要な手段になっています。子ども達に与える影響や、自宅でも簡単に出来る活動を、園でおこなっている“あるて”と合わせて紹介します。

## ～アートで育つ、こんな力～

造形分野の活動を通してどんな力が身に付くと思いますか？  
創造力や表現力などはイメージしやすいと思います。他には、自分の思いを表現できることで情緒の安定に繋がったり、友達や自分の作品を見比べたり頑張った所を伝え合う場があることで認め合いとコミュニケーション能力の向上にも繋がると言われています。  
さらに、自由に描くことで、感情や考えを視覚的に表現しています。

## ～おうちでできる！簡単アート～

### ◎材料

- 画用紙  
(かぼちゃの形に切ったもの)
- 丸シール
- ペン

### ◎作り方

- 好きな形の画用紙を選ぶ。
  - 紙に平行に2～3本自由に線を引く
  - 線の上に丸シールを貼る
- 草間彌生風の作品の出来上がり！



上記は10月のあるてコーナーのプログラムであり、園でも実際におこなっている内容です。2歳児の子ども達も描いたりシールを貼ったり楽しめます。年中や年長になるとオリジナルのかぼちゃの形を作り出し、「保育園に飾ってあるかぼちゃと同じにしよう」や「これも面白いよ！」と独創性のあるかぼちゃを作り、お互いに見せ合いながら制作を楽しんでいます。作ったものは園で飾るより、「家に持って帰る」と話している子ども達です。ご家庭でも“あるて”をしていただいて今年のハロウィンはいつもと違ったかぼちゃでお部屋を彩ってみてください。

マジヨラムクラスでは廃材制作などもおこなっていますが、大人から見ると「なんだろう、これは？」と思うようなものでも、子ども達にとってはたくさん想像して作り出した大切な宝物です。最後に子ども達が作品を持って帰ってきた時にやってみて欲しいことがあります。**作品を認めてあげてください。**

- ① どんな気持ちで作ったのか**聞いてみる** ② そして、**作品を展示**してあげてください。

自分がつくった作品が大事されていることは子どもにとっても嬉しいことです。余裕がある時には是非、上記の①、②をやってみてください。日々のあるてでも大切にしているところであり、これらをすることで子ども達の気持ちが満たされ、作品さらに意欲が増していきます。

アートは子どもの右脳も育てます。保護者の方も一緒にアート活動を楽しんでみてください。